

倉田議員

起業家を育成する可能性
調査研究事業について

問新たな事業を起こすときアイデアが面白くても事業になり得ないことが多々ある。そこで事前に事業になり得るかどうかが、その可能性を調査研究することが必要である。市が起業家を育成するための可能性調査研究事業（以前、勝山市が実施した「わがまちげんき発掘事業」に類似したもの）を実施することはできないか伺う。

答企業における技術開発の前段階についてはいろいろな手法があり、その内容は非常に秘密裏であり、需要を行政が調べるのは非常に難しい。まずは、既存の補助制度で対応すべきである。新しい補助制度を考えるに当たっては具体的なニーズがあるのか、また市の単独事業として実施可能かを個別に話をさせていきたい。

小中学校等の教育環境改善の
学校の施設について

問小中学校等の教育環境改善のために、冷暖房設備が順次設置されてきている。このような機会に省エネ型冷暖房装置、2重窓、壁断



熱など、省エネ効果の向上が求められている。また教室内の絶対湿度（1m³の空気中に含まれる水分量）を一定量以上に保つことによりインフルエンザ予防につながるという報道もある。このため、朝方でも教室の温度が一定温度を保つよう管理をすることが望まれる。校舎の耐震化工事にあわせ、このような改善工事ができないか伺う。

答23年度から小学校の耐震補強工事にあわせ、老朽化した施設の大規模改造工事も施工する中で、普通教室へのヒートポンプ式エアコン、ペアガラスの設置を予定している。その実績を検証する中で、今後より効果的な省エネ、またインフルエンザ予防等を考慮した改修工事を実施していきたい。

その他の質問
・市政運営及び産業振興施策における市長のリーダーシップについて

松本議員

脱原発社会への取り組み
について

問福島原発事故は、その危険性を過小評価してきた人災であり、原発が安全でない事は明らかとなった。一方、勝山は雪深い山々に囲まれ、豊富な水資源と十分な落差がある。再生可能なエネルギー源として小水力発電などを推進することは、エコ環境都市勝山の目指すべき姿ではないか。

答現時点では課題はあるが、今後とも国や県の動向を注視し、情報収集を積極的に行い、小水力発電を含めた再生可能エネルギーの活用の可能性について研究を進めてまいりたい。

平泉寺荘の存続について

問勝山市高齢者連合会により、平泉寺荘存続を求める署名が短期間のうちに7346名分も集まり、市に提出されたという。このことは、勝山市民にとって平泉寺荘は、必要とされている施設であることが明らかではないか。

答今後検討委員会では、まず請願・陳情による存続要望の中身を精査



すること。どのような理由で存続が必要なのかを確認する。その確認結果をもとに、必要な機能を存続するにはどのような形態が考えられるのか検討し、それに必要な改修の費用の精査、採算の見直し、また行政負担が必要となる場合は、その負担が市民の理解を得られるのかどうかということも判断しなければならぬ。そういうことも含めて、議会でも請願・陳情に対応するために議会としての方向性を出していただくなり、これは重く受け止めたいたいと考えている。

その他の質問
・ふるさと創造プロジェクトについて
・北谷地区の振興について
・勝山市の観光について
・勝山市の農業について